

CAE技術研究会の取組みのご紹介

平成22年度「CAE技術研究会」成果発表会を開催しました。

当センターでは、財団法人近畿地方発明センターと共催で「CAE技術研究会」を開催しています。

本研究会は、主に設計技術者を対象として、設計段階からシミュレーションを行なうことにより品質を作り込むための技術を身につけることを目的として活動しており、会員は解析の基礎を学んだ後に事例研究を行なっています。事例研究は、解析への理解が深まり、会員が所属する企業にとっても問題解決へとつなげるために、与えられたテーマではなく、会員が直面している課題をテーマとして会員自らが選定しています。

また、解析技術を身につけるだけでなく、これらの「結果をまとめ」、そして「人に伝える」ことも設計者として重要なポイントにとらえ、1年間のまとめとして成果発表会を平成23年3月9日(水)に開催し、構造解析や熱応力解析など計6テーマを発表しました。

各発表後の質疑応答では活発な議論が交わされ、今後解析をさらにすすめていくために大変参考となる意見もいただき、大変有意義な発表会となりました。



【発表者及びテーマ】

- ・山下 正直 氏 株式会社堀内機械 「高圧用油圧シリンダのチューブ応力解析」
- ・中川 浩延 氏 応用電機株式会社 「LCCチップを搭載した基板の熱応力解析」
- ・荒谷 政則 氏 国産部品工業株式会社 「ガスケットの荷重特性に及ぼすビード加工の影響」
- ・高井 勝 氏 日下部電機株式会社 「アンコイラのセグメント取付ボルトの検討」
- ・青山 大助 氏 双和電機株式会社 「V-CUTのある基板を割る際の実装部品への影響」
- ・小谷 浩史 氏 一志株式会社 「締め代および加工発熱を考慮した冷間鍛造金型の応力解析」

※当日の発表内容の詳細については、下記までお問い合わせ下さい。

平成23年度「CAE技術研究会」活動を開始しました。

「CAE技術研究会」は、今年度からの新規会員5名と昨年度からの継続会員5名で活動を開始しました。

講師の田村隆徳氏(オムロン株式会社)と笠井貴之氏(株式会社島津製作所)の指導のもと、新規会員は解析ソフトの取扱い方法を含めた解析の基礎を身につけるための研修に、継続会員は事例研究に取り組んでいます。

新規会員は、今後研修を継続しながら事例研究のテーマを選定し、10月以降各自のテーマに取り組み、継続会員とともに平成24年3月の成果発表会で発表する予定です。

成果発表会の詳細につきましては、平成24年1月末以降にホームページ等でお知らせします。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
基盤技術課 機械設計・加工担当

TEL: 075-315-8633 FAX: 075-315-9497

E-mail: kiban@mtc.pref.kyoto.lg.jp